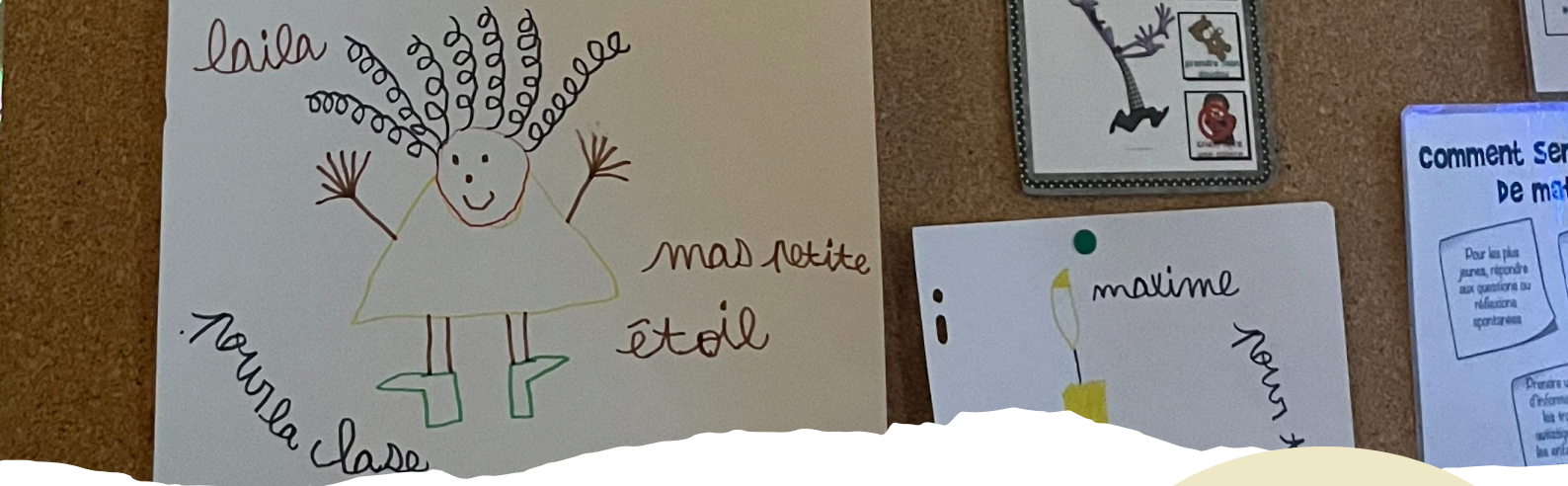




2024年度公開セミナー

2024年

12月21日（土）

13時～17時

若者たちが学び育つ場所

登壇者



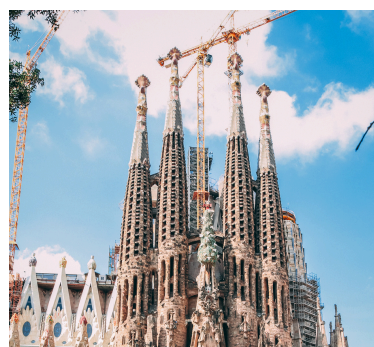
ドイツの事例

布川 あゆみ
(東京外国語大学)



スウェーデンの事例

本所 恵
(金沢大学)



スペインの事例

有江 ディアナ
(大阪大学)



大阪の事例

山田 勝治 (大阪府立
西成高等学校)
森 ゆみ子 (同上)

コメンテーター

柏木智子 (立命館大学)
池田賢市 (中央大学)

司会

辻野けんま (大阪公立大学)
園山大祐 (大阪大学)

場所：中之島センター8階大会議室（定員50名）

〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島4丁目3-53

※公開セミナーのため無料ですが、資料作成および収容人数に限りがあるため事前予約制となります。



<https://forms.gle/koqpoE1X9cM2kDdh7>

▲事前予約はこちらから

『若者たちが学び育つ場所—ヨーロッパの早期離学対策の現場から』

ナカニシヤ出版、2024年12月刊行予定（先行予約割引有）

主催者：大阪大学人間科学研究科教育制度学研究室&附属未来共創センター (IMPACT)

詳細は裏面をご覧ください⇒



Project
IMPACT

本セミナーでは、最初にヨーロッパの早期離学対策の現場を5年間調査してきた研究者から、若者の居場所から、当事者（教師や生徒）の声を紹介いただく。また日本の事例として大阪の高等学校の取り組みについてお話しいただく。そのうえで日本への示唆について研究者と現場の教師、生徒、保護者、学生、一般市民と議論を深めたいと思っている。

プログラム

13:00-13:10 趣旨説明

13:10-15:40 登壇者による報告

○修了資格取得に重きを置くドイツ／布川 あゆみ

○一人ひとりの生徒に寄り添うスウェーデンの高校／本所 恵

○スペインにおけるセカンドチャンススクールの「補償」的役割／有江 ディアナ

○大阪の取り組みと日本の高等学校の課題／山田 勝治・森 ゆみ子

15:40-15:50 休憩

15:50-17:00 総合討論

<https://forms.gle/koqpoE1X9cM2kDdh7>



登壇者紹介

事前予約はこちらから▲

- 布川あゆみ（フカワ アユミ）：東京外国語大学アカデミック・サポート・センター長・准教授。主著：『現代ドイツにおける学校制度改革と学力問題：進む学校の終日化と問い直される役割分担のあり方』晃洋書房、2018年。
- 本所恵（ホンジョ メグミ）：金沢大学・准教授。主著：本所恵『スウェーデンにおける高校の教育課程改革—専門性に結びついた共通性の模索』新評論、2016年。
- 有江ディアナ（アリエ ディアナ）：大阪大学国際公共政策研究科、世界人権問題研究センター専任研究員。主著：「外国人の「マイノリティ」としての教育についての権利 — 国際人権法からの検討 —」世界人権問題研究センター『研究紀要』、第28号、63-100頁、2023年。
- 山田 勝治（ヤマダ カツジ）：大阪府立西成高等学校校長。大阪市西成区生まれ。1990年から2004年まで、「成人識字」教室の運営に関わる。05年、西成高校に教頭として赴任、09年から13年3月まで同校校長を務めた後、異動。17年、同校校長として再赴任。「基礎教育保障学会」所属。
- 森 ゆみ子（モリ ユミコ）：大阪府立西成高等学校、首席・生徒生活支援室長・地域連携事務局・報道機関等応接担当。主著：「高等学校における教育と福祉の連携について：西成高校の挑戦」『児童養護』52 (3)、34-37頁、2022年。
- 柏木智子（カシワギ トモコ）立命館大学産業社会学部教授。主著：『子どもの貧困と「ケアする学校」づくり—カリキュラム・学習環境・地域との連携から考える』明石書店、2020年。主な研究テーマは、公正な民主的社会の形成のためのケアする学校・地域づくり。
- 池田賢市（イケダ ケンイチ）中央大学文学部教授。主著：『学校で育むアナキズム』新泉社2023年。主な研究テーマは、フランスにおけるインクルーシブ教育、移民教育。